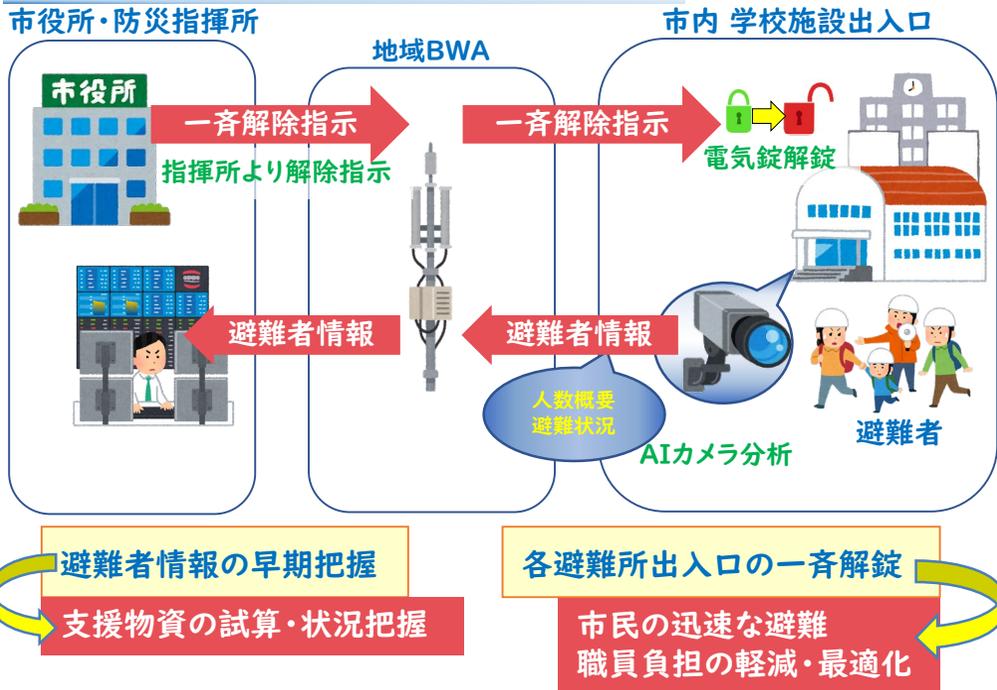


実施体制 <small>(下線：代表機関)</small>	(株)I・TECソリューションズ、苫小牧市（苫小牧市官民連携協議会）、 苫小牧工業高等専門学校、東日本電信電話株式会社、日本電気株式会社		実施地域	北海道苫小牧市 （市内小・中学校のうち21校の校舎）	
整備する通信インフラ	➢ 地域BWA	主な補助対象機器等	➢ LTE基地局 ➢ 電気錠、AIカメラ	目標	➢ 避難所21か所をカバーする通信インフラの整備、21か所への電子錠と避難者数カウントカメラの設置 ➢ 災害時やリハーサル時に1分以内の遠隔解錠と1時間以内の避難者概数の把握
事業概要	苫小牧市においては、災害時に避難所解錠担当職員が被災した場合に、被災者が避難所を利用することが出来ないという課題が存在。また、避難所担当職員の到着が遅れた場合、避難者数の把握に時間を要するという課題が存在。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 公衆回線不通時にも利用可能な地域BWA（通信技術）を活用し、避難所の遠隔解錠を実施。さらに、AIカメラで避難者数を自動カウントし、防災拠点に自動で通知。 ➢ 被災者の避難所即時利用を可能とするとともに、リアルタイムで避難者数を把握することにより、支援物資の速やかな供給の実現を図る。 ➢ 平常時は、学校体育館開放事業における入退館管理システムとして活用し、市民及び市職員の手続上の負担軽減を図る。 				

整備する通信インフラとソリューションの構成及びサービスの全体像

災害時：避難所の遠隔解錠、避難者数配信



平常時：学校体育館の開放事業

